

2023年度 第2四半期 決算説明資料

今日を支え 明日を創る

株式会社 四電五

(東証プライム市場:1939)

2023年11月

- I 2023年度第2四半期実績
- II 2023年度業績予想
- III 資本収益性向上への取り組み
- IV トピックス

- I 2023年度第2四半期実績**
- II 2023年度業績予想
- III 資本収益性向上への取り組み
- IV トピックス

事業環境

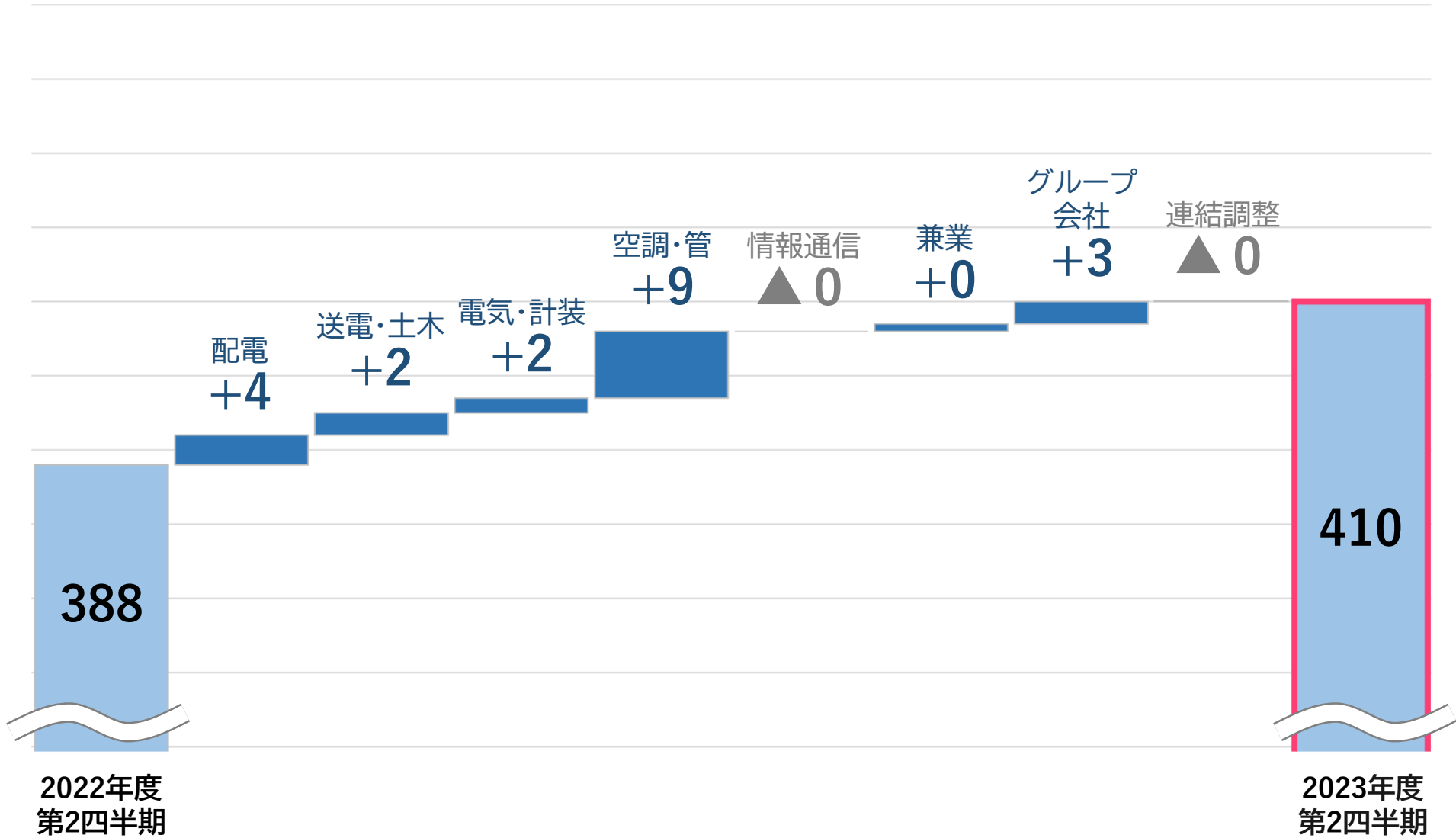
- 設備投資や公共投資に持ち直しの動きがみられるなど受注環境は比較的良好
- 資機材の価格上昇や調達遅延などにより、受注判断や工事原価、工事進捗への影響に留意が必要な状況

当社グループの業績

- 受注高は高水準を確保
- 売上高・利益は前年同期比「増収・増益」
 - 資機材の安定調達や徹底した原価管理が寄与

	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減金額
受注高 (億円)	484	541	+56
売上高	388	410	+22
営業利益	14	30	+15
経常利益	16	32	+15
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10	21	+10

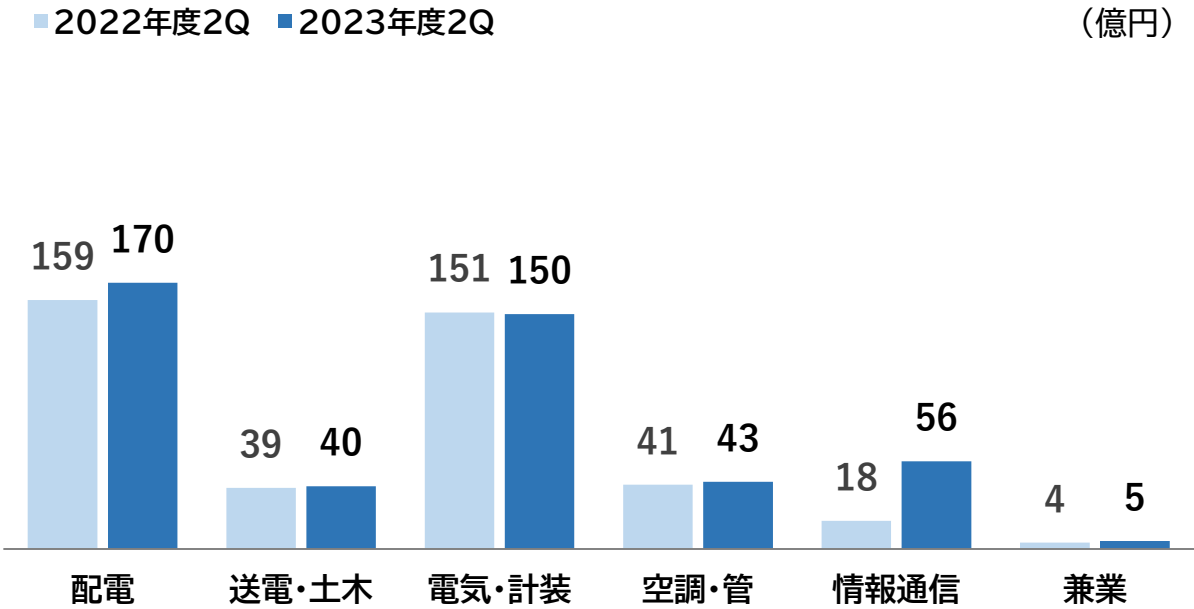
(億円)



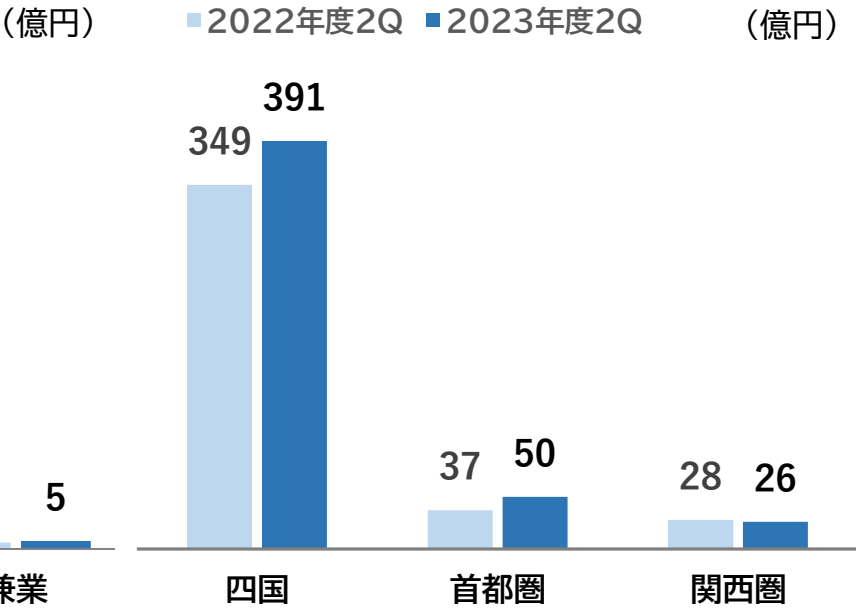
受注高は、468億円であり、前年同期比+52億円増。
➤大型工事の受注が寄与し、過去最高の受注高

(億円)	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	前年同期比
受注高	415	468	+52

工事別受注高



地域別受注高

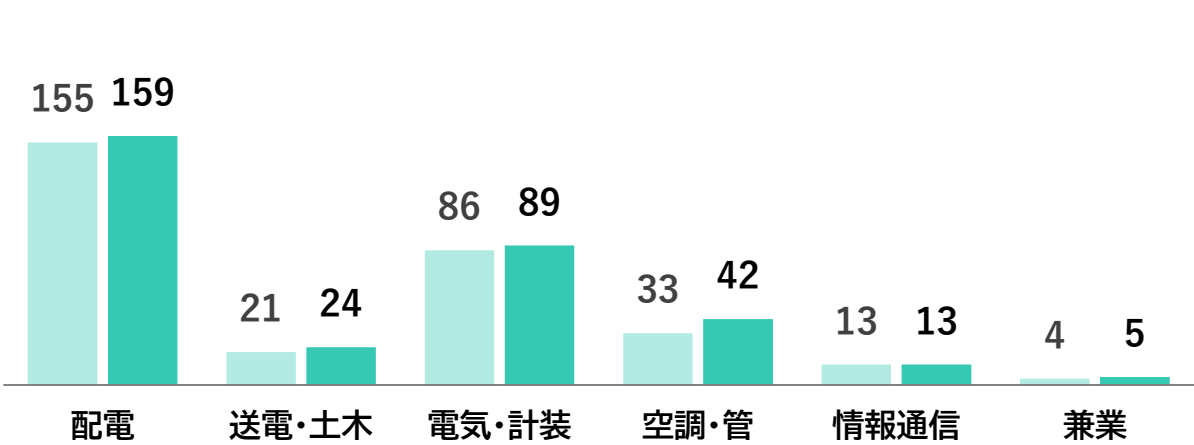


売上高は、335億円であり、前年同期比+19億円増。
➤資機材の安定調達やきめ細かな工程管理などにより、大型工事の進捗が堅調

(億円)	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	前年同期比
売上高	315	335	+19

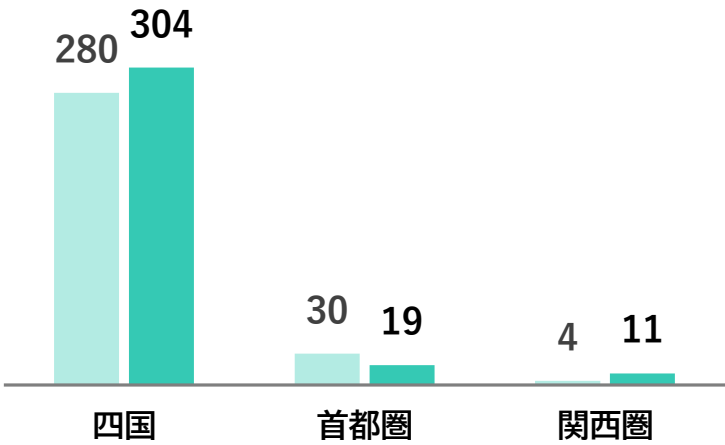
工事別売上高

■ 2022年度2Q ■ 2023年度2Q



地域別売上高

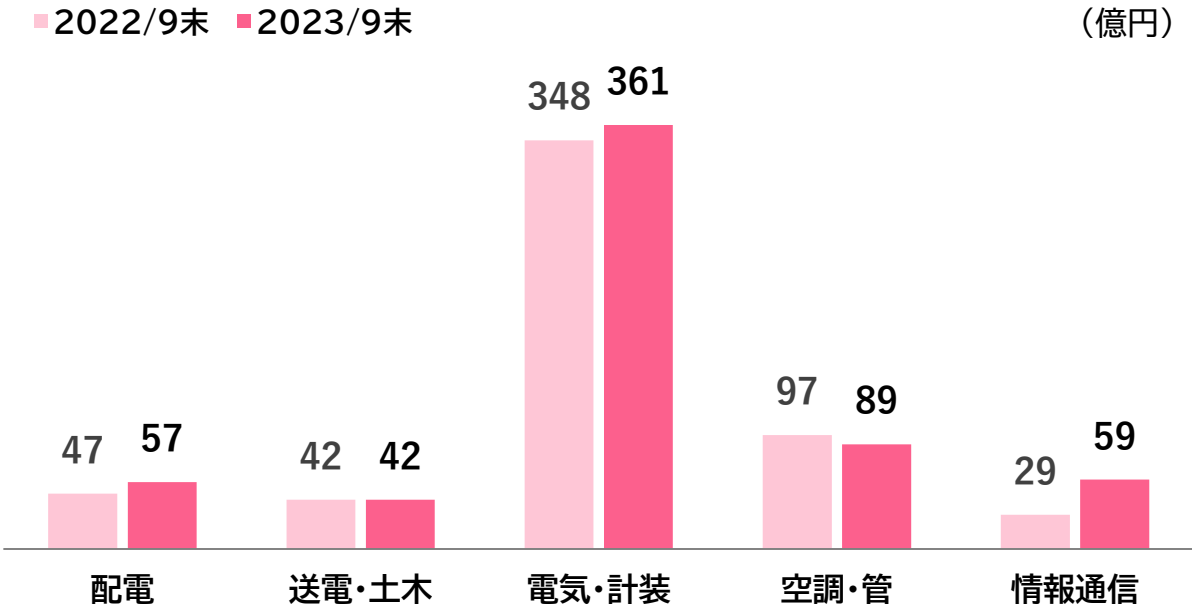
(億円) ■ 2022年度2Q ■ 2023年度2Q (億円)



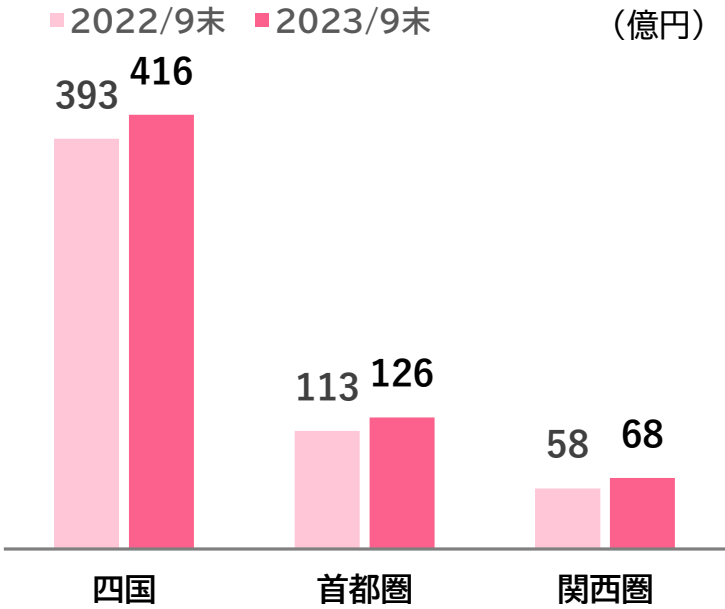
繰越高は、611億円であり、前年同期比+45億円増。
➤過去最高水準の繰越工事高を確保

(億円)	2022年 9月末	2023年 9月末	前年同期比
繰越工事高	565	611	+45

工事別繰越工事高



地域別繰越工事高



(億円)		2023年3月末	2023年9月末	増減	主な増減要因
	流動資産	536	496	▲39	受取手形・完成工事未収入金等 ▲31
	固定資産	434	436	2	
資産合計		970	933	▲37	
	流動負債	295	241	▲53	支払手形・工事未払金等 ▲49
	固定負債	116	108	▲7	
負債合計		411	350	▲61	
純資産合計※		559	582	23	四半期純利益 +21
負債純資産合計		970	933	▲37	

自己資本比率	57.5%	62.4%	+4.9	
--------	-------	-------	------	--

※ 純資産は、「非支配株主持分」を含む。

主な完成物件

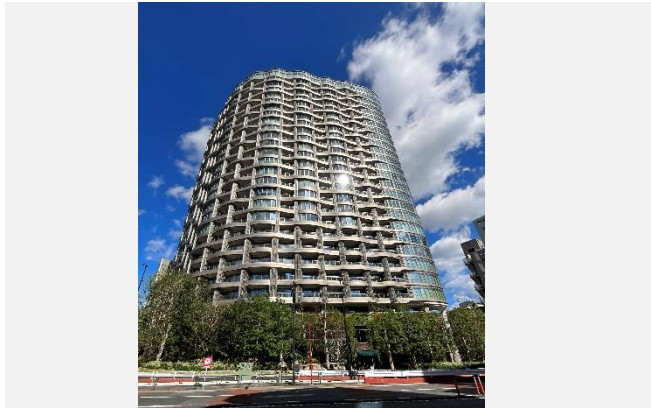
地域	工事種別	工事件名
福島	電気	シャープ鮫川村青生野太陽光発電所工事
大阪	電気、空調・管	NEWNO・SOSiLA高槻 新築工事
東京	電気	パークコート神宮北参道 ザ タワー 新築工事
愛媛	送電・土木	重信線29他建替
徳島	情報通信	令和4年度 ケーブルテレビ設備移転工事(山城サブセンター)



シャープ鮫川村青生野太陽光発電所



NEWNO・SOSiLA高槻



パークコート神宮北参道 ザ タワー

I 2023年度第2四半期実績

II 2023年度業績予想

III 資本収益性向上への取り組み

IV トピックス

- 通期の業績予想は、2023年4月27日の公表値から変更なし。
- 連結・単体ともに、業績予想は増収・増益の見込み。(単体の当期純利益は減益)

	連結					単体			
	2022年度 実績 (億円)	2023年度 予想	増減額	前年比		2022年度 実績 (億円)	2023年度 予想	増減額	前年比
売上高	891	970	+79	108.8%	売上高	743	820	+77	110.2%
営業利益	49	55	+6	110.6%	営業利益	31	34	+3	108.7%
経常利益	55	60	+5	107.8%	経常利益	40	41	+1	101.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	39	+2	103.6%	当期純利益	30	28	▲2	91.6%
1株当たり 当期純利益	239.24円	247.56円	+8.32円	—	1株当たり 当期純利益	194.17円	177.74円	▲16.43円	—

- I 2023年度第2四半期実績
- II 2023年度業績予想
- III 資本収益性向上への取り組み**
- IV トピックス

本年8月31日付で「資本収益性の向上に向けた取り組みについて」を公表いたしました。

「資本収益性の向上に向けた取り組みについて」抜粋 (URL:<https://www.yondenko.co.jp/pdf/ir/ir202308-shihonshuekisei.pdf>)

資本収益性の向上に向けた基本方針

人材投資をはじめとする成長投資を実践することで、利益の持続的な伸長を図るとともに、株主還元の充実等により適正な資本構成を実現します。⇒ROEの向上にフォーカスした取り組みを進めます。

利益拡大

- 『中期経営指針2025』に掲げる重点課題(首都圏・関西圏での収益基盤拡大、空調・管工事受注の強化、脱炭素分野での事業拡大など)に精力的に取り組む、利益目標(営業利益60億円)の達成とさらなる積み増しを目指します。

ROE

当期純利益

自己資本

資本構成適正化

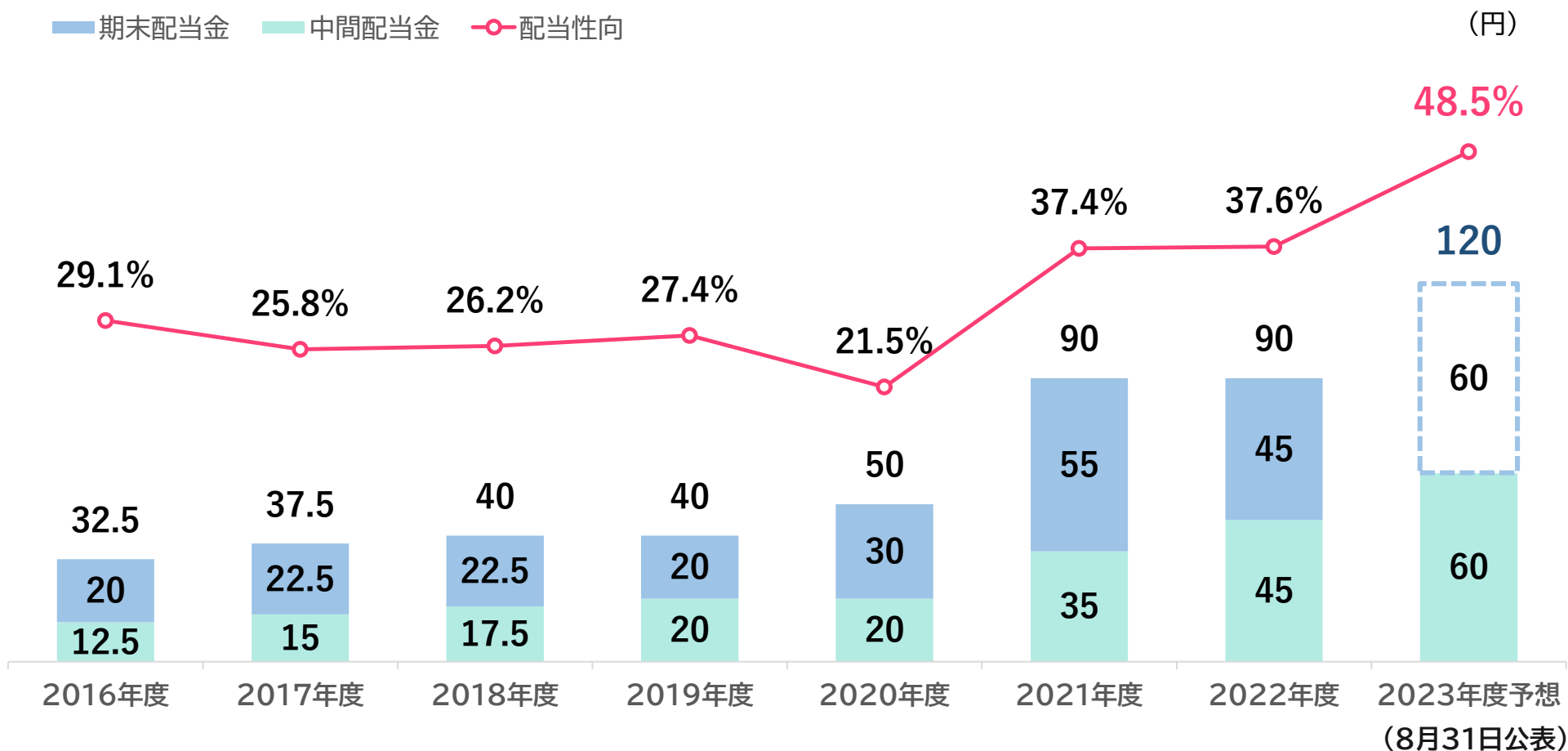
- 人材投資や収益基盤の拡大のための成長投資に要する資金需要および事業継続に必要な運転資金を考慮のうえで、資本収益性の観点から適正な内部留保の水準を指向していくこととし、『中期経営指針2025』の株主還元方針を以下のとおりといたします。

【変更】 連結配当性向；「30%以上」⇒「40%以上」に引き上げ

【継続】 一時的に減益となった場合でも、極力、配当水準は維持

- また、今後、株式流動性を極力低下させないことを念頭に、有効な自社株買いの方法や規模についても検討してまいります。
- なお、株式流動性、株価感応度の向上の観点から、時機をみて、株式分割を通じた投資単位の引き下げについても検討してまいります。

配当金・配当性向の推移



※ 2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施し、2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。そのため、1株当たり配当金は現在の株式数に換算した金額を記載しております。

「株式会社四電工 統合報告書2023」を発行

2023年10月に、統合報告書を発行いたしました。
以下の当社Webサイト、または2次元コードからご覧いただけます。



構成・主な内容

I. イントロダクション

経営理念
事業概要
トップメッセージ

II. 戦略・価値創造

価値創造プロセス
事業活動
中期経営指針の進捗
成果と今後の価値創造への展開

III. サステナビリティ

ESG経営の実践に向けたアクションプラン
ESGへの取り組み

IV. データ集



(URL: <https://www.yondenko.co.jp/ir/integrated-report.php>)

- I 2023年度第2四半期実績
- II 2023年度業績予想
- III 資本収益性向上への取り組み
- IV トピックス**

60年史の発刊について

設立60周年を記念して社史「四電工60年のあゆみ」を発刊いたしました。以下の当社Webサイト、または2次元コードからご覧いただけます。



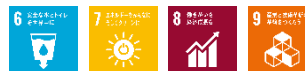
(URL: <https://www.yondenko.co.jp/915/>)

新CMについて

高知県出身の俳優、中村里帆さん主演の当社CM第2弾を制作し、10月下旬から放映を開始しました。当社Webサイトからもご覧いただけます。



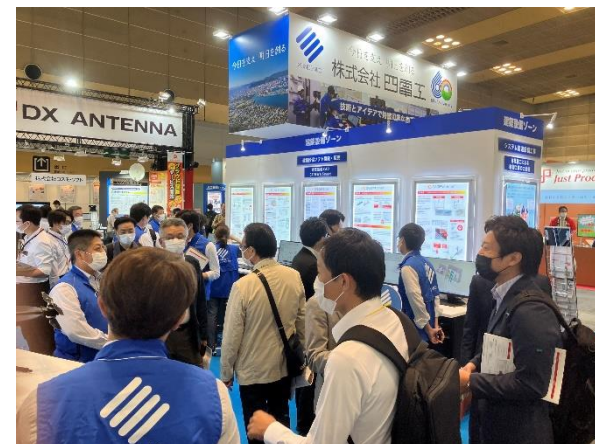
研究開発



JECA FAIRに出展 最新技術を紹介

5月24日からの3日間、インテックス大阪で開催された電気設備業界最大級の総合展示会「JECA FAIR 2023 ～第71回電設工業展～」に出展しました。

当社のブースは、2つのゾーンで構成され、「建築設備ゾーン」では、最新のCADソフトや見積ソフトのほか、システム関連設備工事についてPRを行い、「技術開発・事業開発ゾーン」では、太陽光パネル点検用の自立飛行ドローン、AIを活用したトマトの収穫量予測システムなどについて来場者に紹介しました。



持続可能な社会形成に向けて



徳島県サステナビリティボンドへの投資

令和5年9月に発行された「徳島県SDGs債」へ投資しました。

本債券発行による調達資金は、グリーンプロジェクトとして県有施設の省エネ化、森林や林道の整備のほか、ソーシャルプロジェクトとして公共施設のバリアフリー化、県有施設の老朽化・防災対策などに充当されます。

当社はサステナビリティボンドへの投資をはじめ、企業活動を通じて持続可能な社会の形成に貢献してまいります。



(森林基盤整備)



今日を支え 明日を創る

四電工

お問い合わせ先

株式会社四電工 企画部

E-mail: hnikikaku@mail.yondenko.co.jp

本資料に記載されているデータや業績予想等、将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は種々の要因により異なる可能性があることをお含みおきください。